

中学生向け消費者教育教材

目 次

1. 京都府消費生活安全センター作成教材

- P.1 テーマ | 消費生活と契約
教材名 | カードで学ぶ契約・約束
- P.2 テーマ | クレジットカード
教材名 | ひなちゃんとクレジットカード
- P.3 テーマ | 消費者の権利と責任（1）
教材名 | 消費者の8つの権利と5つの責任
- P.5 テーマ | 消費者の権利と責任（2）
教材名 | 消費者の権利と責任～実践編～
① 消費者トラブル事例から学ぶ「消費者の権利と責任」
② ネット通販サイト事例から学ぶ「消費者の権利と責任」
- P.6 教材名 | 「クーリング・オフ」リーフレット
- P.7 テーマ | 京都府の消費生活相談事例
教材名 | ① 中学生に多い消費生活相談事例
② 小学生・中学生・高校生の消費生活相談概要



2. 授業事例紹介（京都府内の授業事例）

- P.8 めあて | 買いもの上手プレゼン大会 ～購入計画を振り返り、改善しよう～
めあて | 消費者の権利と責任について考えを深め、自分の消費行動の見通しを立てていこう
- P.9 めあて | ～あなたは18歳で成人！
そこで、自家用車(新車)の購入・支払い方法について考えてみよう～

3. 参考資料（他団体作成の参考になる資料）

- P.10
- ・「クレジットカードの特徴と注意点とは？」（消費者庁）
 - ・「キャッシュレス決済の種類と仕組みを理解しよう」（消費者庁）

1. 京都府消費生活安全センター作成教材

テーマ | 消費生活と契約

教材名 | カードで学ぶ契約・約束

<ねらい>

- 暮らしの具体的な行動例を通して、「契約」と「契約でないもの」の違いを理解する

<コンテンツ>

- 契約・契約ではないカード
(「電車に乗る」「病院で診てもらう」「着物を借りる」「友達と宿題をする」「水道を使う」等
の中学生が行っている行動について、契約か契約ではないかを考える内容)
- 使い方
- 授業プラン
- ワークシート

(掲載ページ)



(参考：家庭科においてもっとも関係する学習指導要領上の項目)

C消費生活・環境ー(1)金銭の管理と購入ーア(1)売買契約の仕組み、消費者被害

内容紹介(抜粋)

- 使い方

- 契約島1枚(A4サイズ)

- 契約カード32枚

- 契約ではないカード8枚

※ 時間設定や使い方によって、カードの枚数を調整してください。

- カード (例)

1. 契約カード(32枚)と契約ではないカード(8枚)を全て表面を上に向けて混ぜて重ねておきます。
2. 2~4人のグループを作ります。
3. グループの中央に契約島を置きます。
4. カードを1枚ずつとり、グループで相談しながらカードに書かれているものが契約と思う場合は契約島に置き、契約ではないと思う場合は契約島の外側に起きます。(裏面をみてはいけません。)
5. 全てのカードを置いたら、カードの裏面をみて答え合わせをしましょう。(丸印が契約です。)
6. 契約島に置かれているカードを見て、特徴は無いかなどグループで考えてみましょう。



アパートを借りる



ほけん ぜいめいほけん そんがいのほけん
保険(生命保険・損害保険)に
かにいよう
加入する



きょく
曲をダウンロードする



ゲームのアイテムを買う



いす すいどう つか
家の水道を使う



レンタルショップで
DVDを借りる



きょうだい
兄弟とサッカーをする



コンビニでバイトする



じどうはんばいき
自動販売機でお茶を買う



かぞく ばん はん
家族が晩ご飯にカレーを
つく
作ってくれる



かぞく さんぱつ
家族に散髪してもらう



ともだち やきゅう
友達と野球をする



でんわ ちゅうもん
電話でピザを注文する



さんぱつや さんぱつ
散髪屋さんに散髪する



びやういん かみ
美容院で髪をカットしてもらう



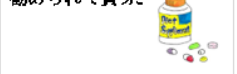
ねつ であ びやういん
熱が出たから病院で
診てもらう



スーパーで野菜を買う



でんわ かみだ よ さふりいんと
電話で体に良いサプリメントを
すす
勧められて買った



引っ越しをする



スマホを買う



でんき つか
電気を使う



授業プラン（消費生活と契約）

京都府消費生活安全センター

<学習のねらい> 日々の暮らしの中の契約について理解できる。

・自分の消費行動を工夫できる。

<内 容> 消費者としての自覚

<対 象> 1～3年生

<資 料> ・「カードで学ぶ契約」、「中学生に多い消費生活相談事例」

（京都府消費生活安全センター作成）

・ワークシート「私たちの消費生活」（京都府消費生活安全センター作成）

スケジュール

時 間	内 容	準備・その他
導入（5分）	○前回の復習	
展開1（8分）	○私たちは消費者であることを自覚する。 ○身の回りの契約について知る。 ・何が（売買）契約で何が約束なのか知る。	・カードで学ぶ契約 契約カード15枚、 契約ではないカード5枚、合計20枚使用
展開2（10分）	○契約と約束、それぞれの特徴を理解する。（グループワーク） ・グループの代表がまとめた意見を発表する。 （生徒の意見をまとめて板書）	・ワークシート
展開3（7分）	○契約の成立 ・（売買契約の）契約の成立について理解する。 契約の成立によって生じる権利と義務について学ぶ。 ・未成年者取消権	・ワークシート
展開4（15分）	○契約の成立前と成立後の対処について知る（グループワーク） ・京都府の事例集2件それぞれ、どのように対処するかグループで話し合う。 （グループの意見をまとめて発表する。 （生徒の意見をまとめて板書）	・中学生に多い消費生活相談事例 ・ワークシート
まとめ（5分）	○本日の学習を振り返る。 ・消費者ホットライン188の周知	

・ ワークシート

消費生活と契約

京都府消費生活安全センター

学年 組 番 氏名

1 契約と約束、それぞれの特徴を考えよう

契 約	・契約は絶対守らないといけない ・買ひ物をする事は契約したこと ・自分勝手に辞められない など
約 束	・都合で辞められる ・けっごうゆるい ・家族に、晩ご飯のおかずなどを依頼するレベル など

2 契約クイズ

スニーカーを買いに行ったとき、契約が成立するのは①～③のいつでしょうか？

予算5,000円で、お店にスニーカーを買いに行きます。

① レジに商品（スニーカー）を置いたとき。

② 店員が「5,000円です」と言ったとき。

③ 5,000円を支払ったとき。

解答 ②

3 事例5と8に対して、どのように対処しますか？ それはなぜですか？

事例5 定期購入	契約は成立している どうする？ 契約をやめたいと購入先に問い合わせる。 未成年者取消権を主張する。
事例8 ワンクリック詐欺	契約は成立していない どうする？ 無視する。 自分は調べ物をしていて誤ってアダルトサイトに繋がったので間違っていないから。

テーマ | クレジットカード

教材名 | ひなちゃんとクレジットカード

<ねらい>

・クレジットカードの使い方、使う時に注意することを理解する。

<コンテンツ>

・動画・スライド



（掲載ページ）

参考：家庭科においてもっとも関係する学習指導要領上の項目（「C消費生活・環境」）

（1）金銭の管理と購入ア（ア）購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理

内容紹介(抜粋)

へっ!? ヨクゲツ? イッカツ!?

今、購入する服の料金を、来月に一回で支払うのか、何回かに分けて分割で支払うのか、それともリボ払いで毎月決まった額を支払うのか、を聞いているのよ!

多分、大丈夫と思うけど...でもクレジットの支払いが遅れても、ちょっと電話が止められるくらいでしょ? すぐにお金を入れたらいいし!

甘い、甘い、大甘や! ベリ〜スイートや! 支払いが遅れると、遅れた情報が「信用情報機関」に渡って、クレジットが使えなくなることもあるで!

わやみに控えを捨てて、誰かに捨われると、カード番号や有効期限が不正に使用されてしまう恐れがあるわよ!

えっ!?

あつた! 良かった〜!

最近は手書きのサインの代わりに、暗証番号を入力することが多いから、暗証番号の管理も大切よ。

サイン

暗証番号

※ 専用端末にクレジットカードをかざすだけで支払いが完了するタッチ決済も増えています。

テーマ | 消費者の権利と責任 (1)

教材名 | 消費者の8つの権利と5つの責任

<ねらい>

- 暮らしの中での消費者の8つの権利と5つの責任の内容を具体的に理解する。
- 消費者トラブル事例（オンラインゲーム課金、定期購入）の各場面で、どのような消費者の権利と責任が関わっているのか、消費者トラブルにならないために気を付けることを考える。

<コンテンツ>

- 動画①：「消費者の権利と責任 その1」
- 動画②：「消費者の権利と責任 その2」
- 8つの権利と5つの責任の各イラスト（A4サイズ）
- 授業プラン
- ワークシート（3種類）
- 投影用資料（PowerPointデータ）



（掲載ページ）

（参考：家庭科においてもっとも関係する学習指導要領上の項目）

C 消費生活・環境ー(2) 消費者の権利と責任ーア 消費者の基本的な権利と責任

内容紹介(抜粋)

- 動画：「消費者の権利と責任 その1」
（消費者の権利と責任がある理由を説明し、8つの権利と5つの責任を紹介する内容）

商品を買うときに、どの商品を買った方がいいかを判断するために、必要な知識や情報を得られるように、消費者には「権利」があります。

The infographic details 8 rights and 5 responsibilities. Rights include: 1. Safety, 2. Right to be informed, 3. Right of choice, 4. Right of opinion, 5. Right to receive consumer education, 6. Right to have basic needs protected, 7. Right to a healthy environment, 8. Right to consideration for the weak. Responsibilities include: 1. Having a critical attitude, 2. Acting responsibly, 3. Being careful, 4. Considering the environment, 5. Considering the weak.

- 動画：「消費者の権利と責任 その2」
（消費者の権利が守られているか消費者の責任を果たしているかについて、生活の中の具体的事例を挙げて説明する内容）

消費者の権利と責任は、生活の中でどのようにかかわっているのでしょうか。

次の場合、消費者の権利は守られているでしょうか？

お土産でもらったお菓子に、アレルギー表示があった。

雷が落ちて停電したが、翌朝には復旧していた。

①生活の基本的なニーズが満たされる権利

守られている

新しく買った自転車のブレーキがきかない。

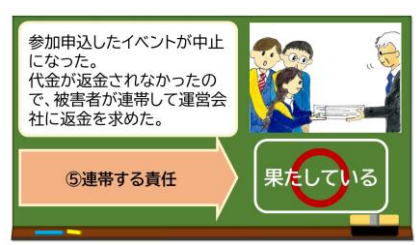
②安全である権利

守られていない

お土産でもらったお菓子に、アレルギー表示があった。

③知らされる権利

守られている



4

テーマ	消費者の権利と責任（２）
教材名	消費者の権利と責任～実践編～

① 消費者トラブル事例から学ぶ「消費者の権利と責任」
② ネット通販サイト事例から学ぶ「消費者の権利と責任」

<ねらい>

- 次の①又は②を通して、消費者トラブルを防ぐために消費者としてどのような行動をとればよいのか、もし起こったらどうすればよいのかを自分ごととして考える。
- 自立した消費者として消費者の権利と責任を踏まえた責任ある消費行動を考え、工夫できるようになる（消費者市民社会の一員として行動できるようになる）。

① 消費者トラブルの事例から原因を振り返る

② 消費者トラブルが起こりそうな場面（ネット通販サイト事例）から考える

<コンテンツ（①用と②用があります）>

- 教師用手元資料
- ワークシート
- 投影用資料（PowerPointデータ）



(掲載ページ)

(参考：家庭科においてもっとも関係する学習指導要領上の項目)

C消費生活・環境－(2)消費者の権利と責任－イ自立した消費者としての消費行動の工夫

内容紹介(抜粋)

① 消費者トラブル事例から学ぶ「消費者の権利と責任」

消費者の権利と責任～実践編（消費者トラブル事例から学ぶ「消費者の権利と責任」）～

学年 組 番氏名

- 1 消費者トラブル事例を知る**
 - ・実際の相談事例を読んでみよう（【中学生に多い消費生活相談事例】）
 - ・消費者の行動と起こりがちな消費者トラブルを聞いてみよう（ケース1・2）（黒面）
- 2 どうしてこのようなことになったのでしょうか？**

- ・広告に書いてある内容が本当ではないかもしれないと疑わなかった
 - ・契約条件や利用規約をしっかりと確認しなかった 値をついて契約した
 - ・正規のサイトか偽サイトかをしっかりと調べていなかった
 - ・商品・サービスに不具合があって解約・返品する場合はどうすればいいのかを調べなかった
 - ・急いで契約した など
- 3 このトラブルを解決するためにどうしたらよいでしょう？**

- ・購入した事業者に相談（電話・メール）
 - ・消費生活センターに相談する
 - ・警察に相談する

関係する「消費者の権利と責任」：主張し行動する責任
- 4 今後このようなトラブルに遭わないためには、購入前にどのように行動すればよいでしょうか？**

○購入前に、しっかりと情報を調べる（広告内容、サイトが本物か）、

○SNS以外でも調べる、身近な人に聞いてみる、口コミ（☆が多い口コミ、批判的な口コミ）を調べる、公的機関のサイトを見てもいい。性能保証や製品保証の内容を確認する

○（メーカーだけではなく）売っているのはどの会社のどこか、通販サイトをよく見る、公式サイトで買う。

○契約内容や購入条件（総額はいくら？解約の条件は？）をよく確認する、前払いはより慎重に行動する。

○契約条件や利用規約をしっかりと読む、広告や最終確認画面をスクリーンショットしておく。

○解約・返品する場合の、返品や解約方法・連絡方法について、通販サイトをよく見る。

○契約時に値をつかない、網羅者の了解を取る。 ○その場で契約しない。

○分からないことがある点は、事業者に「お問い合わせ」などで質問する、分からない時は購入しない。

関係する「消費者の権利と責任」：知らされる権利、批判的意識を持つ責任
- 5 消費者市民社会の実現**

批判的意識を持つ

批判的意識を持たない

消費者の権利を守る事業者と契約

悪質な事業者と契約

消費生活センターに相談

対応しない

トラブル解決のための助言やあっせん交渉

対応する

トラブル対策や商品・サービスの改善

法律の整備

トラブル解決

する

不正な取引、製品等の事故が繰り返す

被害の拡大

トラブル発生

行動する

行動しない

消費者市民社会の実現

消費者トラブルにつながりがちな消費者の行動と、
起こりがちな消費者トラブル

ケース1
定期購入

事例読み上げ
(音声:音読さん)

三メニュー

ダイエット

飲むだけで
やせる!!

5,980円/税込

送料無料

購入

お試し
500円!

消費者トラブルにつながりがちな消費者の行動と、 起こりがちな消費者トラブル

ケース2
偽サイト

事例読み上げ
(音声: 斎藤さん)

困ったときには相談を!
消費者ホットライン
TEL 188番 (局番なし)
お近くの消費生活相談窓口につながります

テーマ | 京都府の消費生活相談事例

教材名 | ① 中学生に多い消費生活相談事例（生徒用・先生用） ② 小学生・中学生・高校生の消費生活相談概要

<① コンテンツ>

京都府内で、中学生に多い消費生活相談（生徒用・先生用（解説つき））

①

中学生に多い消費生活相談事例(令和5年度京都府)

先生用

中学生の消費生活相談件数 1位はインターネットゲーム

令和5年度 京都府における消費生活相談件数(商品・役務別で主なもの)

1位	2位	3位	4位
インターネットゲーム (ゲームと、投げ銭や電子コミック購入を行った3件を含む)	41件	娯楽等情報配信サービス (カラオケアプリ、アダルトサイト、音声ライブ配信、動画配信サービス等)	6件
		化粧品 (美容液、歯磨き粉、ファンデーション)	5件
		健康食品 (サプリメント(美容、筋力増強等))	4件

令和5年度に京都府内の消費生活相談窓口へ寄せられた、契約当事者が中学生の相談事例
全国消費生活情報ネットワークシステム(PIO-NET) 令和6年7月検索

1位 インターネット（オンライン）ゲームの相談事例

【事例1】ゲーム課金 ※1 契約購入金額:12万円

※1 キャラクターやアイテム購入等のポイントや料金の支払い

子どもが、自分のスマホで友達とゲームをして12万円の課金を課金したと申告された。子どものスマホを親のスマホと紐づけ、キャリア決済ができるように設定していた。対処方法を教えて欲しい。

【事例2】ゲーム課金 契約購入金額:150万円

子どもが、親の古いスマホでゲームをして150万円の課金をしていた。スマホは親のアカウントで使用し、クレジットカードと紐づけられていた。子どもは18歳以上と詐称したようだ。プラットフォーム事業者※2とゲーム会社に事情を説明して返金を求めたが、返金対応外と言われてしまった。

※2 インターネット上でゲームコンテンツを配信するとともに、有料コンテンツの取引場を運営する事業者

【事例3】ゲーム課金 契約購入金額:10万円

子どもが親のスマホで、3日間2種類のゲームに約10万円の課金をしていた。スマホにはクレジットカード情報を登録していなかったが、子どもがスマホ決済アプリと紐づけて決済設定をしたようだ。プラットフォーム事業者からは1種類のゲームしか取消しを認められなかった。

【事例4】ゲーム課金、投げ銭 ※3 契約購入金額:26万円

※3 配信者等を応援するための課金機能

子どもが親の承諾なく、ギフトカードをコンビニなどで購入して、ゲーム課金や動画共有SNSで投げ銭をしていた。ギフトカードで25万円、電子決済で500円ほど決済をしたようだ。返金を求めることはできるか。

（参考1）未成年者の契約

未成年者が法定代理人（保護者など）の同意を得ないで行った契約は取り消すことができます。ただし、次のような場合は取り消すことができません。
・小遣いの範囲内での契約（法定代理人が認めた範囲内での契約）
・18歳以上である年齢を偽った場合
・契約書の法定代理人の承認欄に無断で記入するなど、偽って契約した場合

オンラインゲームをする前に注意すること

- 課金のルールを決めましょう。
保護者に相談して、課金の上限や支払い方法等ルールを決めておきましょう。
- 事業者（契約相手）の連絡先を確認しましょう。
生年月日などの利用者情報を正しく登録しましょう。
- 利用規約を確認しましょう。
自分を守るために読まなければならないルールが書かれています。

消費生活と契約

支払い方法

（参考2）課金の支払い方法

- プリペイド方式
コンビニなどで市販品のプリペイドカード（電子マネー）を購入して支払う。
- キャリア決済
電話番号と一緒に支払う。
- クレジットカード
- スマホ決済アプリ

社会科

家庭科



①掲載ページ

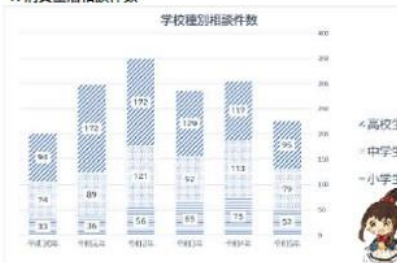
<② コンテンツ>

京都府内で、小学生・中学生・高校生に多い消費生活相談の事例（解説つき）

②

小学生・中学生・高校生の消費生活相談概要 (令和5年度京都府)

1. 消費生活相談件数



京都府消費生活安全センター

○ 令和5年度に、京都府内の消費生活相談窓口へ寄せられた相談(20,047件)の内、契約当事者が小学生・中学生・高校生の相談総数は、226件でした。

○ 令和5年度は、前年度に比べて、79件減少しました。小学生・中学生・高校生のいずれも相談件数は減少しました。

○ 販売・購入形態別相談件数では、「通信販売」(オンラインゲームやネット通販を含む)が突出しています。

2. 相談内容の内訳

(1)過去5年間の小・中・高校生の販売・購入形態別相談件数



通信販売は、クーリング・オフできません
(通信の可否や条件については事業者が決め、特約(返品拒否)に使うことになり得る)

(2)小・中・高校生の商品・サービス別相談件数(商品・役務別で主なもの)

小学生	件数	中学生	件数	高校生	件数
1 インターネットゲーム (ゲームと、投げ銭や電子コミック購入を行った3件を含む)	41	インターネットゲーム (ゲームと、投げ銭や電子コミック購入を行った3件を含む)	41	インターネットゲーム (ゲームと、投げ銭や電子コミック購入を行った3件を含む)	17
2 玩具・道具 (プラモデル、トレーディングカード等)	3	娯楽等情報配信サービス (カラオケアプリ、アダルトサイト、音声ライブ配信、動画配信サービス等)	6	化粧品 (除毛クリーム、歯磨き粉、化粧水、美容液 など)	8
3 加工アプリ	2	化粧品 (美容液、歯磨き粉、ファンデーション)	5	健康食品 (サプリメント(ダイエットなど)、ダイエット食品 など)	8
4 婦人服、化粧品、商品一般※ など6項目	1	健康食品 (サプリメント(美容、筋力増強等))	4	紳士・婦人洋服	6
				娯楽等情報配信サービス (音楽配信サービス、アダルトサイト)	5

※ 商品一般:注文した見えない郵便物(中身不明)や請求等

(PIO-NET 地域データ 2024.7検索)

(②掲載ページ)



2. 授業事例紹介（京都府内の授業事例）

めあて

買いもの上手プレゼン大会 ～購入計画を振り返り、改善しよう～

テーマ 「よりよい商品の選択・購入のために」
実施中学校 京田辺市立大住中学校（令和4年度）

<紹介内容>

- ・ 学習指導案
- ・ ワークシート



（掲載ページ）

「自分や家族の生活に必要なものの購入シミュレーション」 購入計画表

2年 組 番 名前

よりよい商品の選択・購入のために必要なことは何だろうか？

1 目的や課題

何を買うか	検討後に重要であったポイントは、右側の欄に記入しよう。
誰のためか	
なぜ必要か	
重視する条件	
予算	

検討・改善

★本当に必要か（収入と支出のバランスを考えて、本当に必要なものか）

★できるようにしたこと・できなかったこと
次の課題・生かすこと

過程	学習活動	学習 形態	学習 形態	指導上の留意点	評価 【評価の観点】 【評価方法】
導入 5分	○前時までの学習を振り返り、本時の学習課題を確認する。	内化	一斉	○前時のグループ発表や本時の代表者の発表を踏まえ、自分の購入計画を振り返り、改善することができる。	
展開 33分	○グループの代表者が購入計画を発表する。 (代表者の発表 各1分半)	内化 ↓ 内化	協働 ↓ 協働	○大型テレビに代表者の購入計画表を掲示する。 ○代表者の発表を聞き、気づいたことを購入計画表に記録させる。 ○班での意見交流の際には、代表者の良い点や、同カテゴリの代表者の購入計画を比較して意見をまとめるように助言する。	自分や家族の生活に必要なものの選択・購入に関する一連の活動について、考察したことを論理的に表現するなどとして、購入計画を評価したり、改善したりしている。 【思考・判断・表現】 (購入計画表) 十分満足できると判断される状況
まとめ 12分	○商品カテゴリごとに、代表者の発表を踏まえ、班で意見交流をする。 (班での意見交流 約4分)	内化 ↓ 内化	協働 ↓ 協働	○全体で意見交流をする。 (全体での意見交流 約4分)	○自分の取組内容を振り返って評価するとともに、自分や家族の生活に関連付けて、今後の実践に生かせることに気づき、改善を図ろうとしている。
	○商品カテゴリごとに、代表者の発表を踏まえ、班で意見交流、全体での意見交流を行う。	内化 ↓ 内化	協働 ↓ 協働	○消費生活センターの方のアドバイスを聞く。	○消費生活センターの方に、商品やサービスなど消費生活全般に関するプロの視点から、アドバイスをいただく。
	○自分の購入計画の改善点等をまとめ、購入計画全体を振り返る。	内化	協働	○代表者の発表や他生徒の意見や消費生活センターの方のアドバイスを参考にし、改善点や新たに見つけた課題などを記入するよう助言する。	○購入計画のプロセスを振り返って、不十分な点を確認するなどして、これまでに学習した意思決定の流れと結び付けて、評価・改善
	○全体で意見交流をする。	内化 ↓ 内化	協働 ↓ 協働	○数名の生徒の振り返りを大型テレビに映し、発表させる。 ○商品の選択・購入について「持続可能な社会の構築」等の視座を持つことの大切さを確認し、生活での実践への意欲につなげるようにする。	

めあて

～あなたは18歳で成人！

そこで、自家用車(新車)の購入・支払い方法について考えてみよう～

テーマ 「購入方法と支払い方法」

実施中学校 南丹市立園部中学校（令和4年度）

<紹介内容>

- ・ 学習指導案
- ・ ワークシート

自家用車の費用を計算しよう

組 番号 名前

④車を買って、運転するまでにかかる費用を考えよう。

	例	あなたのほしい車に関するメモ
運転目的 色(白) タイプ 一般、スポーツタイプ	レジャー、通勤 白 一般、スポーツタイプ	
車種	軽自動車 今回は、新車です。	
①車の値段		
②免許を取る費用	△△△自動車学校(例)は、AT 265,100円 MT 276,100円	
③自動車保険 任意	普通車 3年27,700円 軽自動車 3年27,330円 普通車(例) 1年約50,000円 軽自動車(例) 1年約40,000円	
④税金 これは1年です。X3年で 計算しよう	軽自動車(例) 10,800円 普通車(例) 29,500円 39,500円	

※余裕があれば、⑤⑥も考えてみよう。

⑤ガソリン代	1回分 満タンで 1割160円×40割	週あたりどのくらい乗りますか？
⑥その他	駐車場費用なども考えよう	

④買った新車を3年間乗ることを想定し、支払い方法を考えよう。

合計金額は、()円
一括払いで支払いますか？ はい いえ
ローン(後)払いで支払うには、返済方法を考えよう。

毎月定額を支払う場合は、()円 × 3年(36回)	
夏・冬ボーナス払いを加える場合は、()円 × 3年(30回) + ()円 × 3年(6回)	

④気付いたことを書こう。

消費者の権利と責任について考えを深め、自分の消費行動の見通しを立てていこう

テーマ「消費者の権利と責任」

実施中学校：南丹市立園部中学校（令和5年度）

<紹介内容>

- ・ 学習指導案
 - ・ ワークシート
 - ・ 生徒の意見
- ～ワークシートより～



(掲載ページ)

めあて

未来の自分の暮らしに合った洗濯機を購入する方法を考えよう

テーマ「よりよい商品の選択・購入のために『自分や家族の生活に必要なものの購入シミュレーション』」

実施中学校：南丹市立園部中学校（令和6年度）

<紹介内容>

- 学習指導案
- ワークシート
- 自主課題シート

7 本時の展開 (10/11 時間目)			
過程	学習活動	学習形態	評価基準 【評価の観点】(方法)
導入 5分	・ 本時の目標を知る。 ・ 講師の先生を紹介する。	一言	・ ワークシート A とタプルシートを用意させる。
のあて：未来の自分の暮らしに合った洗濯機を購入する方法を考えよう。			
展開 30分	・ レポート 8 をもとに、選んだ 2 つの方法について考察していく。 A) 安全性、価格、アフターサービス、環境への配慮、支払い方法、配達方法等 B) 8 つのデータのメリット、デメリット。 ・ 各組が出た意見を交流していく。 ・ 代表が交流内容を報告する。	個別 内化	・ 前時に選んだ購入方法を確認する。 ・ ワークシートに沿って進めていく。 ・ 生活班の 1 ～ 3 名が班長になって報告する。(メモ欄) ・ 既付いたことをワークシートにまとめさせる。
	・ 講師の先生から、購入方法や購入ポイント(安全性、価格、アフターサービス、環境への配慮、支払い方法、配達方法等)について、アドバイスを受ける。	グループ 外化	・ 質問等、適宜確認していく。 ・ 消費者の権利と責任の学習をふり返らせる。 ・ 前時からの学習をじっくりとふり返らせる。
8分	・ 購入方法を決定する。 ・ 2 時間の学習を振り返って、既付いたことをワークシートにまとめる。	一言 内化	◆自分らの生活に必要な「洗濯機」の選択・購入に関する活動について、考察したことを論理的に発表している。さらに、購入計画を評価したり、改善したりできる。 【思考・判断・表現】(行動観察)(ワークシート 8) 十分満足できると判断される状況 ○既取り組み内容を振り返って評価するとともに、自分の生活に関連づけて今後に生かせることに気づき、改善をうろうらしている。 努力を要する状況への手立て ○購入計画のプロセスを振り返って、不十分な点を確認して、学習した意思決定の流れと結び付けて、評価、改善できるようにする。
まとめ	・ ワークシートを提出する。 ・ 次時の学習内容を知る。	一言	・ ワークシートを回収し、次時の学習内容を伝える。

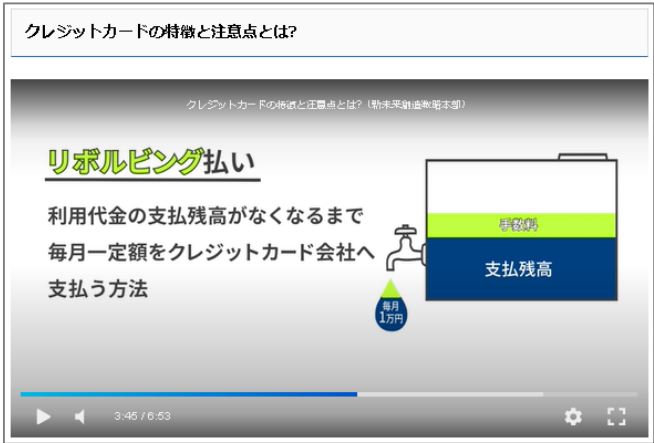
＜本時の内容＞ 50分計画				
過程	学習内容	学習形態	指導上の留意点	評価標準 【評価の観点】
導入	○前時の学習を振り返る。	一斉	◎講師を紹介する。 ○学級規則をして、雰囲気を作らせる。	
	○本時の学習内容を知る。			
展開	めあて 消費者の権利と責任について考えを深め、自分の消費行動の見通しを立てていく。			
	オンラインゲームに対する質問に答える。	個別	○ワークシートを配布する。 1. ①②を回答させる。	
	消費者の権利と責任 ○動画を視聴しながら、消費者の8つの権利と5つの責任とを振り返る。	一斉	○動画を視聴する（5分間） ○黒板で権利と責任のプレートを提示する。	
	○オンラインゲームの課金事例を取りあげ、問題点とそれについて、考えを深めていく。	一斉	◎講師が、事例を紹介する。 ワークシート2 「問題点に赤線を書いていく」 事例を大きな紙で提示する。	○消費者の権利と責 任にあて、自分 で消費行動を工夫 する。
	○質問① 「問題点を交流しよう。」 ペアで交流する。 全体で考えていく。	ペア	○質問① 「問題点を交流しよう。」 ペアで交流させる。	【思考・判断・表現】 行動観察
	○質問② 「問題点にかかわる権利と責任を考えると、黒板に提示した紙を使って答えていく。」	一斉	◎講師が赤線を引いて解説する。	
	○質問③ 「問題点にかかわる権利と責任を考えると、黒板に提示した紙を使って答えていく。」	一斉	○質問③ 「問題点にかかわる権利と責任を考えると、黒板に提示した紙を使って答えていく。」	十分満足できると判断される状況
	○ワークシート3（1） 「このようなトラブルになったらどうするか」 個人、班、全体で考えさせる。	個別 班 一斉	○ワークシート3（1） 「このようなトラブルになったらどうするか」 個人、班、全体で考えさせる。	○事例を自分事として捉え、自分の現在の生活状況や将来の思いをイメージしながら考えていること
	A個人で記入する。 B班で交流する。 C発表する。	個別 班 一斉	◎講師が評価していく。	○努力を要する状況への手立て
	○学習内容を振り返る。	一斉	○ワークシート3（2）を記入させる。 ○ワークシートを提出させる。	○机間指導をしな がら、具体的な声 かけをしていく。 ○班長を中心にして 意見交流を活性化 させていく。
まとめ				

5 本時の展開 (9/11 時間目)				
過程		学習形態	指導上の留意点	評価基準 【評価の観点】(方法)
導入 5分	・本時の目標を知る。 めあて：未来の自分の暮らしに合った洗濯機を購入する方法を考えよう。 ギミック：①事前、自宅の洗濯機について家族に聞き取り調査をした。 ②生徒の思考・判断力に応じて購入例を1つから2つ考えさせ、提出方法も紙面とロイロノートのどちらかを選択させる。	一言	・白物家電を説明する。	
展開 10分	・18歳の未来の自分の生活パターンを考え、決める。 ・商品の購入方法について、復習する。	個別 ペア 一言	・具体的な暮らしをイメージさせていく。 ・自分が希望していることを振り返らせる。	◇◆学習した商品の購入・支払い方法の特徴。 計画的な金銭管理の必要性、売買の仕組み等を振り返りながら、『洗濯機』の選択と購入に必要な情報の収集・整理を適切に行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】(活動動機)(ワークシートA) 十分満足できると判断される状況 ○自分の取り組み内容を振り返って評価するとともに、自分の生活に関連づけて今後の実践に生かせることに気づき、改善を図ろうとしている。 努力を要する状況への手立て ○購入計画のプロセスを振り返って、不十分な点を確認するなどして、これまでに学習した意思決定の流れと結び付けて、評価・改善できるようにする。
30分	・洗濯機の購入方法を2つ選択し、必要な情報をまとめるよう。	一言 個人	・タブレットや広告等を使わせる。得た情報は、①ののちからで提出するように伝える。 ① レポートAに書く。 ② タブレットでまとめる。	
まとめ 5分	・調査内容をまとめて、提出する。 ・次時はグループで交流し合って購入方法を1つに決めていくことを知る。	一言	・検討したことを①で提出させる。 ・自宅で、家族に尋ねて、参考にしてもよいことを伝える。	

9

3. 参考資料（他団体作成の参考になる資料）

- ・「クレジットカードの特徴と注意点とは？」（消費者庁）
- ・「キャッシュレス決済の種類と仕組みを理解しよう」（消費者庁）

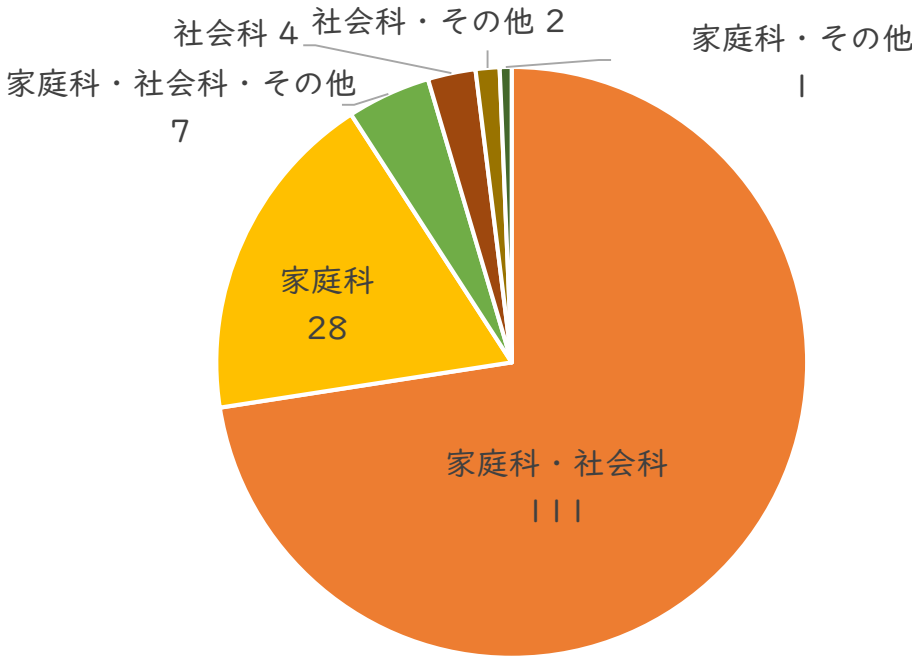


（消費者庁掲載ページ）
「学習動画:デジタル
社会の消費生活」

（順次、ご紹介教材を
増やしていきます）

【調査結果：中学校における消費者教育の実施調査】

1. 令和4～6年度に消費者教育を実施した教科・領域等（実施学校数）



「その他」の科目名	学校数
総合的な学習の時間	8
学びプロジェクト（課外）	1
土曜講座	1

※京都府消費者教育の実施調査における 学校からの回答内容を集計

2. 京都府が作成した教材を活用

令和4年度	令和5年度	令和6年度
26校	29校	42校

※令和6年度分は「クーリング・オフ」リーフレットのみ活用と回答した6校を含む

- 京都府消費生活安全センター作成教材については、ほとんど教材をWordやPowerPointデータで作成しておりますので、ホームページからダウンロードいただき、自由に加工・ご活用いただけます。
- ただし、「消費者庁イラスト集より」と記載しているイラストの二次利用(加工等)は、著作権上お控えください。
- 「カードで学ぶ契約・約束」については、教材カード類の貸出しを行っています。ご入用の際には、京都府消費生活安全センターまでご相談ください。
- 活用いただいた際には、京都府消費生活安全センターまでご一報(メールや電話等)いただければ幸いです。
- 動画については、HPからYouTubeで視聴できます。動画データ(mp4形式)をご入用の際には、京都府消費生活安全センターまでご相談ください。

消費者教育に使用する教材についてご相談がありましたら、京都府消費生活安全センターまでお気軽にお尋ねください。
消費者教育コーディネーターがお話をお伺いし、アドバイスいたします。

京都府中学校消費者教育教材作成チーム 構成メンバー

(敬称略)

区分	所属	氏名	備考
アドバイザー	大阪教育大学 教授	大本 久美子	
メンバー	南丹市立園部中学校 教諭	木村 やよい	R5～
	亀岡市立大成中学校 教諭	西村 実香	
	相楽消費生活センター 消費生活相談員	渡邊 孝子	
	消費生活相談員	原田 郁子	
	京都府消費生活安全センター消費生活相談員	木戸 明美	
オブザーバー	京都府教育委員会学校教育課 指導主事	渡邊 洋史 寺町 宏史	R4～5 R6～

【問い合わせ先】
京都府消費生活安全センター

京都市南区東九条下殿田町70 京都テルサ西館2階
電話:075-671-0030 FAX:075-671-0016
E-mail:kyo-shohisen@pref.kyoto.lg.jp